

第39回卒業証書授与式 在校生「送辞」

冬の寒さが和らぎ、春らしい暖かな日差しが感じられる今日の良き日に、晴れてこの米里中学校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今、皆さんはどのように中学校生活を振り返っているのでしょうか。

今まで皆さんは行事や生徒会活動、部活動、勉強などで私たち後輩をリードし、素晴らしいお手本となってくださいました。

特に私は、生徒会活動の中で多くの先輩方と関わりました。委員会や全校協議会など初めてで分からないことがたくさんありました。しかし、先輩方のどんなことも諦めず、課題に向き合う積極的な姿勢を見て、私もこうありたいと思うようになりました。私が今、米里中学校をより良くしようと生徒会活動を楽しんでいるのは先輩方から課題に積極的に向き合う、そんな姿を見せていただいていたおかげです。

そして、様々な行事がある中、学校祭での皆さんの活躍はとても印象的でした。

今年度の学校祭では、「柘榴」、多くの古代神話に登場するほどの歴史を深く刻んでいこうというテーマで各クラス発表を行っていました。ステージ発表では、クラスで団結し、今までにないくらいいいものをつくろうという気持ちが伝わり、見ている人を惹きつけるような演技や演出で私たちを楽しませてくださいました。また、体験展示では、学級が多くの人であふれかえり、大人気でした。クオリティーが高く、真似できないような素晴らしい展示でした。皆さんがクラスで団結し努力を重ねたことで見る人を惹きつけるものになったのだと思います。

さらに、合唱コンクールでは、三年生全体で歌った「ふるさと」、シンプルなのに難解な曲で、皆さんの歌声に圧倒されました。他にもクラスで選んだ曲、苦戦したところ、悔しい気持ち、嬉しい気持ち、皆さんの歌声と歌詞一つ一つに込められた意味を重ね、歌の素晴らしさや歌に向き合う姿勢など様々なことを感じさせていただきました。

今日で、色々な面で私たちを支えてくださった皆さんが卒業され、空いた教室を見るととても寂しく、不安な気持ちになると思います。ですが、学校祭や合唱コンクールをはじめとして、皆さんからは、一人一人の気持ちや行動が何より大切なのだということを教わりました。このことをこれからの学校生活に活かし、また次の後輩へと引き継いでいきたいと思っています。

皆さんは今日で義務教育が終わり、それぞれの道を歩んでいくと思いますが、それらの道は楽なことばかりではなく、険しい道や困難に出会うのだらうと思います。そんなときは、米里中学校を思い出してみてください。

様々な行事や学校生活で感じた「うれしさ」「たのしさ」「かなしさ」「くやしき」それを思い出すと、こんなこともあったなど、ほんのちよっとの懐かしさとともに笑顔になれるはずです。そして、勇気づけられるはずです。

どうか皆さん、この米里中学校を卒業すると同時に、やりたいことに挑戦し、悔いなく進んでください。

私たちは、皆さんの後輩としてこの米里中学校で共に生活できたことをとても誇りに感じます。今まで私たちを支えてくださり、本当にありがとうございました。

最後になりますが、これからのご活躍を心からお祈りし、贈る言葉といたします。

令和八年三月十三日 在校生代表

第39回卒業証書授与式 卒業生「答辞」

冬の厳しい寒さが和らぎ、雪解けが進み始めている今日のこの良き日に、私たち第三十九期百三十四名は卒業します。

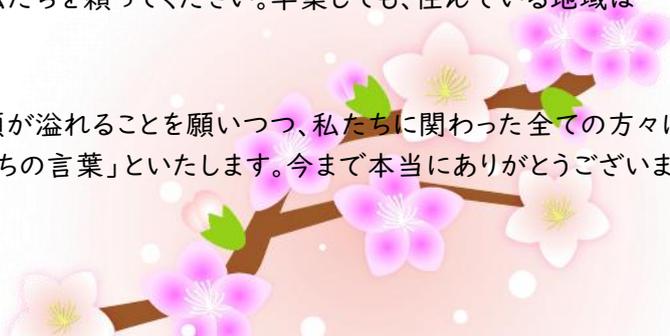
今、思い返すと、この中学校三年間には、沢山のことがありました。仲間と共に、生徒会活動を支えてきた執行部での日々、その執行部で企画・運営をした学校祭、クラスで一致団結した合唱コンクール、仲間と共に、大きな作品をつくってきた美術部、その中でも、私にとって一番の思い出は、修学旅行です。修学旅行では、劇団わらび座の皆さんと三学年全員と一緒に踊ったり、感謝の歌を歌ったりと、とても印象に残っています。振り返ると、忘れられない思い出ばかりの三年間でした。私たちのこの旅立ちに、悔いはありません。

さて、三年生の皆さん、私たちは今日、義務教育九年間を終えます。それは、誰かに助けられるような子供を卒業することだと私は思います。皆さんが目指すのはどのような大人ですか。私が目指すのは、誰かに頼られる大人です。私が合唱コンクールの指揮者を務めていた頃、初めての体育館練習で失敗したことがありました。その練習が終わった後、担任の先生は私に、これから何をすべきかを厳しく教えてくれたり、あなたならできると優しく勇気づけてくれたりしました。思いやりの心を持ち、私たちが間違っただ道を進みそうな時には、厳しく叱れる、そんな先生のような大人に私はなりたいです。

そして、私たちは、この場にいる全ての皆さんのおかげで、この米里中学校を旅立つことができます。日々の学校生活を支えてくださった先生方や職員の方々、そして在校生の皆さん、家庭の安全を守ってくださった保護者の方々、私たちにとって過ごしやすい環境を作ってくれた地域の方々のおかげです。だからこそ、私たちは感謝の意をもって、自分たちが選択した進路を、前を向いて進んでいきます。たとえ、下を向いて落ち込んでしまう日があったとしても、米里中学校での日々を胸に、仲間と協力し一歩ずつ進んでいきます。どうか、これからも温かい目で見守っていただけると幸いです。

最後になりますが、在校生の皆さん、残りの学校生活を全力で楽しみ、かけがえのない思い出をつくってください。ですが、もし困ったことがあれば、いつでも私たちを頼ってください。卒業しても、住んでいる地域は一緒です。私たちは、いつでも皆さんの味方です。

とても名残惜しいですが、この米里中学校に笑顔が溢れることを願いつつ、私たちに関わった全ての方々に感謝を申し上げ、令和七年度卒業生一同の「旅立ちの言葉」といたします。今まで本当にありがとうございました。



令和八年三月十三日 第三十九期卒業生代表